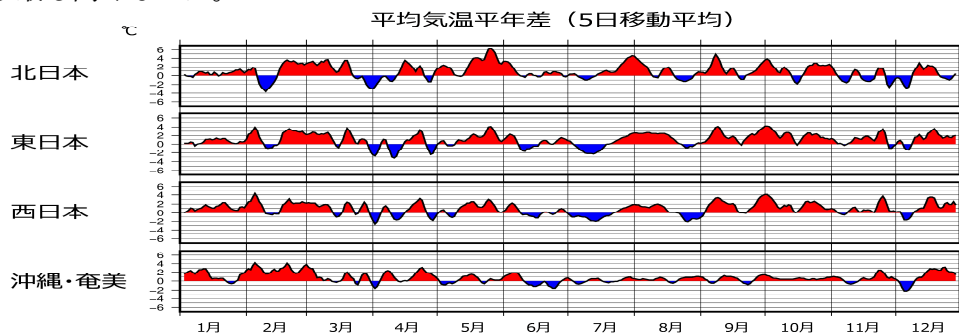


2019 年（平成 31 年・令和元年）の日本の天候

2019 年（平成 31 年・令和元年）の日本の天候の特徴：

- 気温の高い状態が続き、年平均気温は全国的にかなり高かった

冬（2018年12月～2019年2月）は、東日本以西では暖冬となり、西日本日本海側では記録的な少雪となった。夏は、気温の低い時期もあったが、西日本を除き夏の平均気温は高かった。春と秋は、暖かい空気に覆われ、全国的に気温が高かった。季節平均気温は、冬の沖縄・奄美（平年差：+1.8℃）、秋の東日本（平年差：+1.6℃）と西日本（平年差：+1.4℃）で、1946年の統計開始以来最も高くなった。年を通して気温の高い状態が続いたため、年平均気温（2019年1月～12月）は全国的にかなり高く、東日本では平年差+1.1℃と1946年の統計開始以来、2018年と並び最も高くなった。



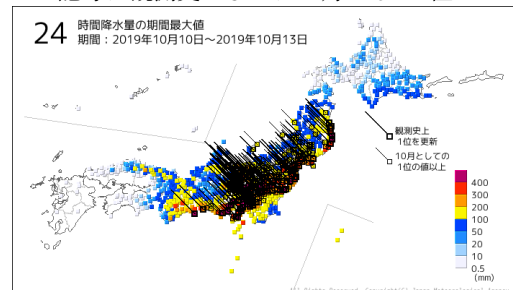
- 台風第15号、台風第19号の接近・通過に伴い、北・東日本で記録的な暴風、大雨となった

9月上旬に台風第15号が関東地方に上陸し、千葉（千葉県）で57.5m/sの最大瞬間風速を観測するなど、千葉県を中心に記録的な暴風となった。10月中旬には、台風第19号が伊豆半島に上陸し、関東地方から東北地方を北上したため、箱根（神奈川県）で日降水量が歴代の全国1位となるなど、東日本から東北地方にかけての広い範囲で記録的な大雨となり、河川の氾濫が相次ぐなど大きな被害が発生した。

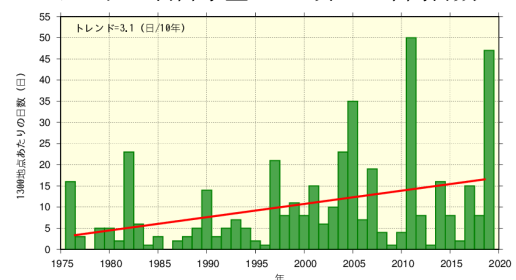
- 夏から秋にかけて各地で記録的な大雨となった

夏から秋にかけては、10月の台風第19号による大雨の他にも、各地でしばしば大雨となった。7月は梅雨前線の影響により九州南部で、梅雨前線や台風第5号の影響により九州北部地方で、8月は前線の影響により九州北部地方で、10月は低気圧の通過により関東地方から東北地方で、それぞれ記録的な大雨となり、土砂災害や河川の氾濫など大きな被害が発生した。アメダスの日降水量400mm以上の年間日数は、2011年に次いで2番目に多くなった（統計開始は1976年）。

24時間降水量の期間最大値（10月10日～10月13日）
記号は観測史上または10月として1位



アメダス日降水量400mm以上の年間日数



1 概況

2019 年は、全国的に気温の高い状態が続き、低温は一時的だった。特に冬の沖縄・奄美、秋の東・西日本は、季節平均気温が 1946 年の統計開始以来、最も高かった。このため、年平均気温は全国的にかなり高く、東日本では平年差+1.1℃と 1946 年の統計開始以来、2018 年と並び最も高くなった。また、夏から秋にかけては、前線や台風、低気圧の影響で記録的な大雨となったところがあった。9 月は、台風第 15 号の影響により千葉県を中心に記録的な暴風となり、10 月は、台風第 19 号の影響により、東日本から東北地方にかけて記録的な大雨となり広い範囲で河川の氾濫が相次ぐなど、大きな被害が発生した。全国のアメダスの日降水量 400mm 以上の年間日数は 47 日で、1976 年の統計開始以来 2011 年に次いで 2 番目に多くなった¹。

季節別の特徴は以下のとおり。

【冬】

冬（2018 年 12 月～2019 年 2 月）の日本の天候は、北からの寒気の影響が弱く、東日本以西では冬の平均気温がかなり高かった。特に、沖縄・奄美では冬の平均気温の平年差が+1.8℃となり、冬の平均気温として最も高くなった（統計開始は 1946/47 年冬）。日本海側の冬の降雪量はかなり少なく、特に、西日本日本海側の冬の降雪量は平年比 7%となり、冬の降雪量として最も少なくなった（統計開始は 1961/62 年冬）。

【春】

春（3 月～5 月）の日本の天候は、北・東・西日本では、期間を通して高気圧に覆われる日が多く、春の日照時間はかなり多かった。北・東・西日本日本海側と北日本太平洋側では、1946 年の統計開始以来、春の日照時間として最も多かった（西日本日本海側は 1 位タイ）。また、春の降水量は北日本日本海側でかなり少なかった。全国的に、晴れて強い日射の影響を受けたことや、暖かい空気が流れ込みやすかったため、春の平均気温は北・西日本と沖縄・奄美でかなり高く、東日本で高かった。

【夏】

夏（6 月～8 月）の日本の天候は、梅雨前線の北上が平年より遅かったため、梅雨明けは平年より遅れた地方が多く、7 月は東・西日本を中心に気温が低く、日照時間が少ない不順な天候となった。7 月末から 8 月前半にかけては、東日本を中心に太平洋高気圧に覆われて晴れて厳しい暑さが続いた。夏の平均気温は、北・東日本と沖縄・奄美で高かった。西日本では、前線や台風の影響により、たびたび大雨となり、特に、九州南部では 7 月に、九州北部地方では 7 月と 8 月に、それぞれ記録的な大雨となり、土砂災害や河川の氾濫など大きな被害が発生した。また、西日本太平洋側では夏の降水量はかなり多かった。沖縄・奄美では、梅雨前線や台風、湿った空気の影響を受けやすかったため、夏の降水量はかなり多く、夏の日照時間はかなり少なかった。

【秋】

秋（9 月～11 月）の日本の天候は、全国的に暖かい高気圧に覆われやすかったため、気温が高かった。特に南から暖かい空気が流れ込みやすかった東・西日本の気温は、1946 年の統計開始以来、秋の平均気温として最も高くなった。また、秋の日照時間は北・東・西日本で多かった。9 月上旬は、台風第 15 号の影響で、東日本太平洋側を中心に大雨や記録的な暴風となり、千葉県などで大きな被害が発生した。10 月中旬は、台風第 19 号の影響で、東日本から東北地方の広い範囲で記録的な大雨となり、河川の氾濫が相次ぐなど、大きな被害が発生した。10 月下旬には、低気圧の影響で、関東甲信地方や東北地方で再び大雨となり、河川の氾濫や土砂崩れなど大きな被害が発生した。沖縄・奄美では、この秋に台風第 13 号、第 17 号、第 18 号、第 20 号、第 27 号が接近・通過し、大雨や大荒れとなった所があった。

¹ アメダスの地点数は一定でないため、概ね現在の地点数（1299 地点）に相当する 1300 地点あたりに換算した値で比較した。

2 気温、降水量、日照時間の気候統計値

(1) 平均気温

年平均気温（2019 年 1 月～12 月）は、全国的にかなり高かった。秋田（秋田県）、御前崎（静岡県）、岐阜（岐阜県）等の 9 地点で年平均気温の高い方からの 1 位の値を更新し、金沢（石川県）、名古屋（愛知県）、彦根（滋賀県）等の 13 地点で 1 位タイの値を記録した。

(2) 降水量

年降水量は、沖縄・奄美でかなり多く、東・西日本太平洋側で多かった。館山（千葉県）と三宅島（東京都）の 2 地点で年降水量の多い方からの 1 位の値を更新した。一方、北日本日本海側でかなり少なく、東日本日本海側で少なかった。稚内と倶知安（以上、北海道）の 2 地点で年降水量の少ない方からの 1 位の値を更新した。北日本太平洋側と西日本日本海側は平年並だった。

(3) 日照時間

年間日照時間は、北日本、東日本日本海側でかなり多く、西日本日本海側で多かった。根室（北海道）、秋田（秋田県）及び新庄（山形県）の 3 地点で年間日照時間の多い方からの 1 位の値を更新した。一方、沖縄・奄美では少なかった。東・西日本太平洋側では平年並だった。

地域平均平年差（比）と階級（2019 年）

	気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)		気温 平年差 ℃(階級)	降水量 平年比 %(階級)	日照時間 平年比 %(階級)
北日本	0.9 (+)*	93 (-) 日 85 (-)* 太 100 (0)	111 (+)* 日 111 (+)* 太 110 (+)*	北海道	0.8 (+)*	84 (-)* 日 80 (-)* オ 83 (-) 太 91 (-)	109 (+)* 日 109 (+) オ 106 (+) 太 111 (+)*
				東北	1.0 (+)*	103 (0) 日 92 (-) 太 110 (+)	112 (+)* 日 115 (+)* 太 110 (+)*
東日本	1.1 (+)*	108 (0) 日 86 (-) 太 114 (+)	104 (+) 日 112 (+)* 太 102 (0)	関東甲信	1.1 (+)*	118 (+)*	103 (0)
				北陸	1.0 (+)*	86 (-)	112 (+)*
西日本	0.9 (+)*	100 (0) 日 96 (0) 太 104 (+)	103 (+) 日 105 (+) 太 101 (0)	東海	1.1 (+)*	110 (+)	102 (0)
				近畿	1.0 (+)*	99 (0) 日 84 (-)* 太 104 (0)	103 (+) 日 105 (+) 太 103 (+)
				中国	0.9 (+)*	84 (-) 陰 82 (-)* 陽 86 (-)	104 (+) 陰 105 (+) 陽 103 (+)
				四国	0.8 (+)*	102 (0)	101 (0)
				九州北部	0.9 (+)*	104 (0)	105 (+)
				九州南部 ・奄美	0.8 (+)* 本 0.8 (+)* 奄 0.7 (+)*	116 (+) 本 114 (+) 奄 123 (+)*	98 (-) 本 99 (0) 奄 93 (-)*
沖縄・奄美	0.8 (+)*	126 (+)*	93 (-)	沖縄	0.8 (+)*	127 (+)*	93 (-)

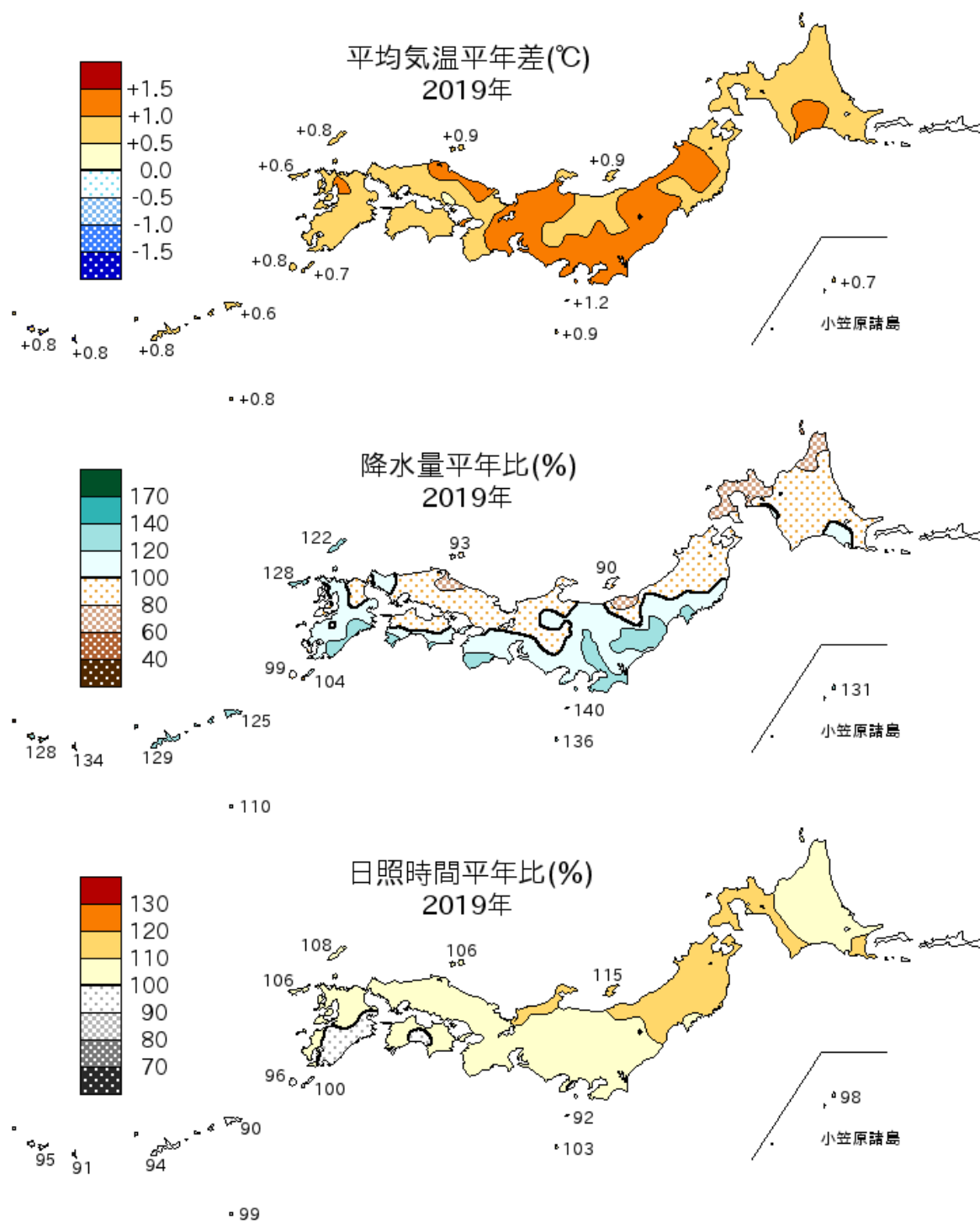
階級表示 ー:低い(少ない) 0:平年並 +:高い(多い)
*はかなり低い(少ない)、かなり高い(多い)を表す

地域表示 日:日本海側 陰:山陰 本:本土(九州南部)
オ:オホーツク海側 陽:山陽 奄:奄美
太:太平洋側

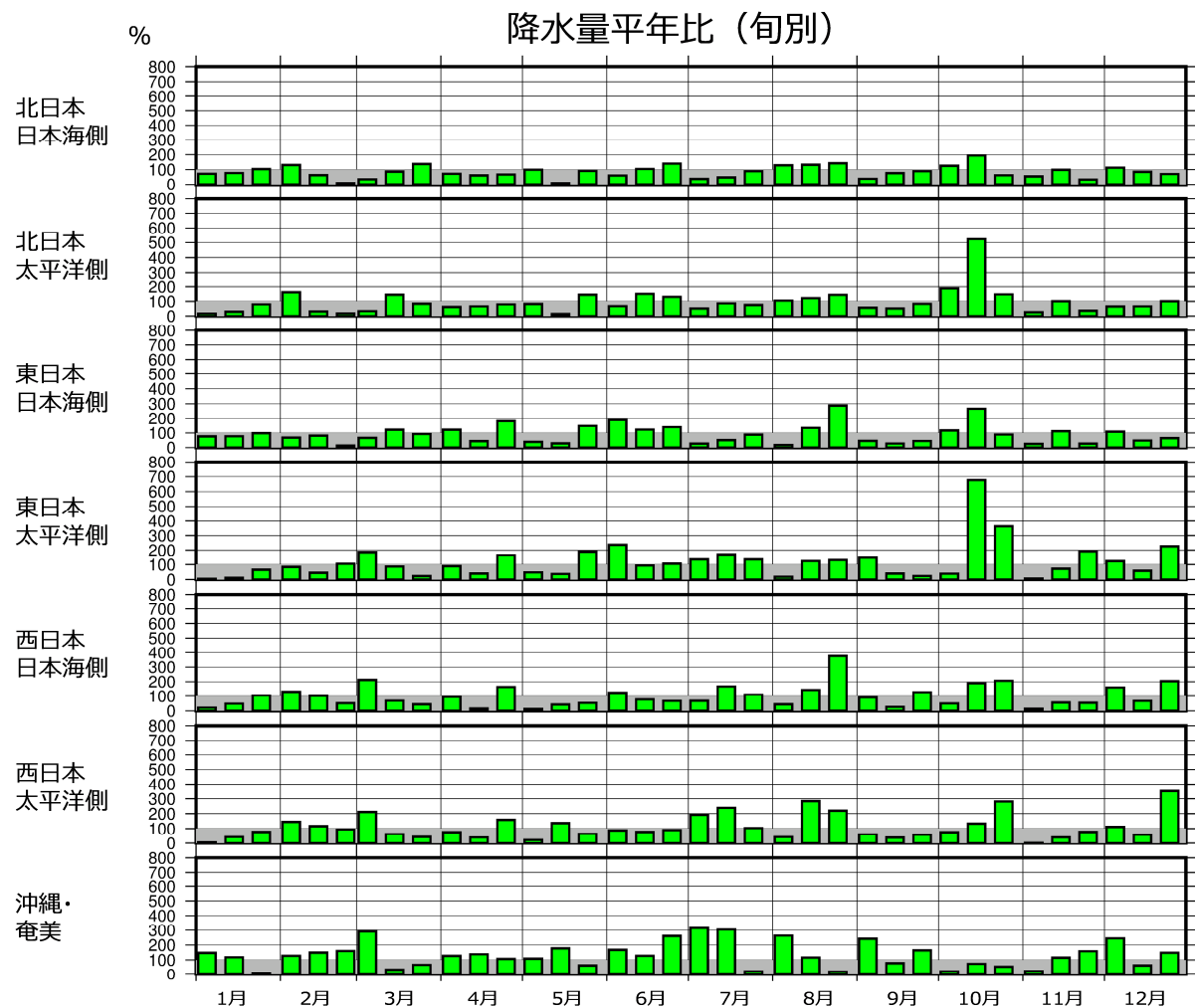
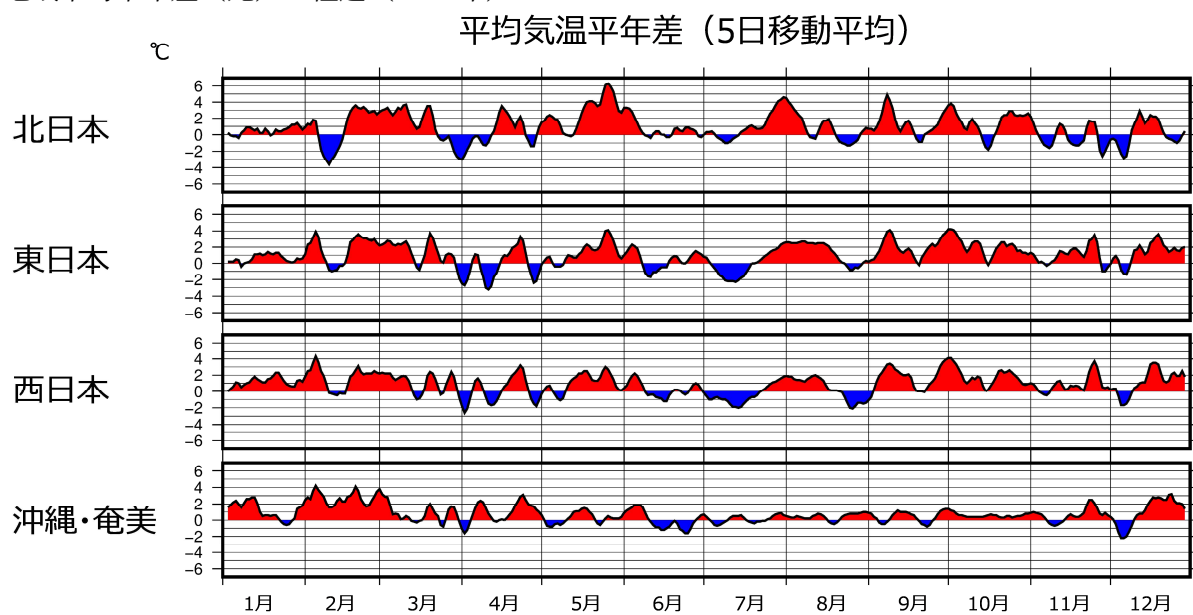
(注)・基礎となるデータは全国の気象台等での観測値で、観測所数は 153 地点である。

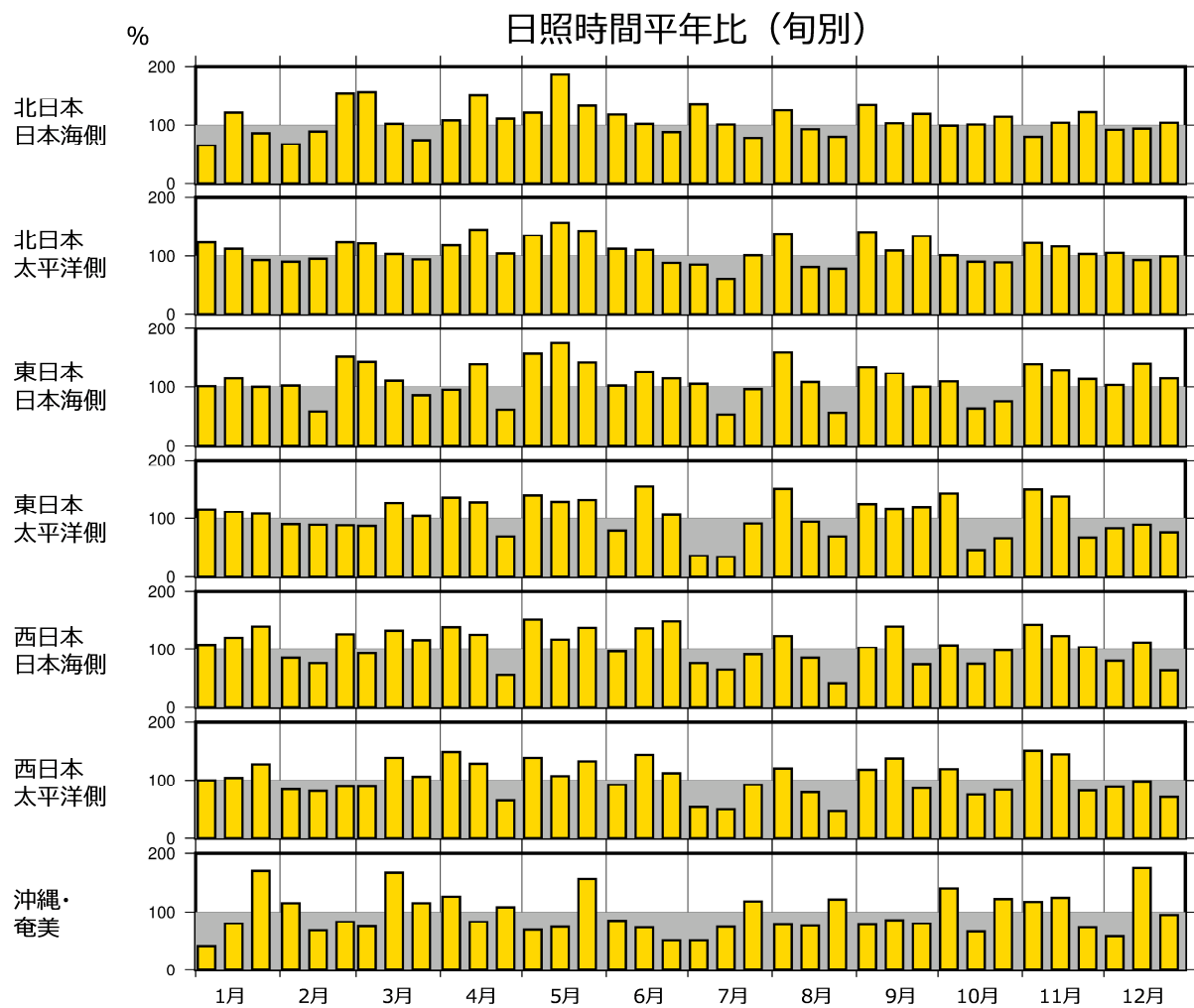
- ・「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の階級は、1981～2010 年における 30 年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が 10 個ずつになる)ように決めている。また、値が 1981～2010 年の観測値の下位または上位 10%に相当する場合には、「かなり低い(少ない)」「かなり高い(多い)」と表現する。
- ・本文中の北・東・西日本の降水量・日照時間の特徴は、日本海側・太平洋側の階級に基づいて記述している。

平年差（比）図（2019 年）



地域平均平年差（比）の経過（2019 年）





観測史上1位の値（月、3か月、年別値）を更新した地点数と地域

- ・全国153地点（降雪の深さ、最深積雪は105地点）の気象台等の統計値の中で、観測史上1位となった地点数を記載した。
- ・値は1位を更新した地点数。タイ記録は含まない。タイ記録がある場合には「値タイ」として横に併記した。
- ・地域は観測史上1位（タイ記録を含む）となった地域を記載した。

	平均気温		降水量		日照時間		降雪の 深さ	最深 積雪
	高い 方から	低い 方から	多い 方から	少ない 方から	多い 方から	少ない 方から	多い 方から	大きい 方から
1月				6 北太	1			
2月	6、3タイ 沖奄			1				
冬	23、10タイ 沖奄							
3月	1							
4月				1	5			
5月	24、4タイ 北		1	3、1タイ 西日	51 北、東日、西日			
春	1、1タイ		1	2	25 北、東日、西日			
6月	1		2			1		
7月			2			2		
8月	1、3タイ		1					
夏			1			1		
9月	14、5タイ		1	3	2	1		
10月	43、7タイ 北、東		16	1	1			
11月				7、2タイ	10			
秋	52、18タイ 東、西		4	3				
12月	1、4タイ			2				
年 2019年	9、13タイ 東		2	2	3			

平均気温の地域表示

北：北日本
東：東日本
西：西日本
沖奄：沖縄・奄美

降水量、日照時間、降雪の深さ、最深積雪の地域表示

北日：北日本日本海側
東日：東日本日本海側
西日：西日本日本海側
沖奄：沖縄・奄美
北太：北日本太平洋側
東太：東日本太平洋側
西太：西日本太平洋側
北：北日、北太ともに1位
東：東日、東太ともに1位
西：西日、西太ともに1位

各地方の梅雨入り・明けと梅雨の時期の降水量

地方名	梅雨入り(注1)	平 年	梅雨明け(注1)	平 年	梅雨の時期の降水量 平年比(注2)
沖 縄	5月16日ごろ(+)	5月 9日ごろ	7月10日ごろ(+)*	6月23日ごろ	138%(+)
奄 美	5月14日ごろ(+)	5月11日ごろ	7月13日ごろ(+)*	6月29日ごろ	154%(+)*
九州南部	5月31日ごろ(0)	5月31日ごろ	7月24日ごろ(+)	7月14日ごろ	140%(+)*
九州北部	6月26日ごろ(+)*	6月 5日ごろ	7月25日ごろ(+)	7月19日ごろ	100%(0)
四 国	6月26日ごろ(+)*	6月 5日ごろ	7月25日ごろ(+)	7月18日ごろ	132%(+)
中 国	6月26日ごろ(+)*	6月 7日ごろ	7月25日ごろ(+)	7月21日ごろ	83%(0)
近 畿	6月27日ごろ(+)*	6月 7日ごろ	7月24日ごろ(+)	7月21日ごろ	112%(+)
東 海	6月 7日ごろ(0)	6月 8日ごろ	7月24日ごろ(+)	7月21日ごろ	138%(+)*
関東甲信	6月 7日ごろ(0)	6月 8日ごろ	7月24日ごろ(+)	7月21日ごろ	134%(+)*
北 陸	6月 7日ごろ(-)	6月12日ごろ	7月24日ごろ(0)	7月24日ごろ	89%(0)
東北南部	6月 7日ごろ(-)	6月12日ごろ	7月25日ごろ(0)	7月25日ごろ	118%(+)
東北北部	6月15日ごろ(0)	6月14日ごろ	7月31日ごろ(0)	7月28日ごろ	70%(-)

(注1) 梅雨の入り・明けには平均的に5日間程度の遷移期間があり、その遷移期間のおおむね中日をもって「〇〇日ごろ」と表現した。記号の意味は、(+)*：かなり遅い、(+): 遅い、(0): 平年並、(-): 早い、(-)*：かなり早い、の階級区分を表す。

(注2) 全国153の气象台・測候所等での観測値を用い、梅雨の時期(6～7月。沖縄と奄美は5～6月。)の地域平均降水量を平年比で示した。記号の意味は、(+)*：かなり多い、(+): 多い、(0): 平年並、(-): 少ない、(-)*：かなり少ない、の階級区分を表す。

階級区分は、1981～2010 年における30 年間の観測値をもとに、以下のように振り分けている。

	33%		33%
	10%		10%
梅雨入り・明け	遅い かなり遅い	平年並	早い かなり早い
降水量	少ない かなり少ない	平年並	多い かなり多い

3 季節別の天候経過

冬（2018年12月～2019年2月）：

- 東日本以西では冬の平均気温がかなり高く、特に沖縄・奄美は記録的な暖冬となった
- 北・東・西日本日本海側の冬の降雪量はかなり少なく、西日本日本海側は記録的な少雪となった
- 冬の降水量は、北・東日本で少なく、沖縄・奄美で多かった

北日本では冬型の気圧配置となりやすく、日本海側では曇りや雪の日が多く、太平洋側は晴れた日が多かった。また、発達した低気圧や湿った空気の影響を受けにくかったため、冬の降水量は北日本太平洋側でかなり少なく、北日本日本海側でも少なかった。北日本の冬の平均気温は平年並だったものの、2月8日9時には札幌付近の上空約1500mの気温が1957年の統計開始以来最も低い -24.4°C となるなど、2月上旬は非常に強い寒気が流れ込み、気温が平年を大幅に下回った時期もあった。

東・西日本では、北からの寒気の影響は弱く、冬の平均気温はかなり高かった。冬型の気圧配置は長続きせず、低気圧や前線の影響を受けやすかったため、東日本太平洋側と西日本では冬の日照時間が少なかった。ただし、東日本では、低気圧や前線が南海上を離れて通過しやすかったため湿った空気の影響を受けにくく、冬の降水量は少なかった。特に東日本日本海側では、寒気の影響が弱かったため、冬の降水量はかなり少なかった。

沖縄・奄美でも、北からの寒気の影響は弱く、冬の平均気温の平年差が $+1.8^{\circ}\text{C}$ となり、冬の平均気温として最も高くなった（統計開始は1946/47年冬）。

日本海側の冬の降雪量は、北日本では、発達した低気圧や湿った空気の影響が弱く広範囲でまとまった降雪量となることが少なかったため、平野部を中心に冬の降雪量はかなり少なかった。東・西日本では寒気の影響が弱かったため、日本海側の降雪量はかなり少なかった。特に、西日本日本海側の冬の降雪量は平年比7%となり、冬の降雪量として最も少なくなった（統計開始は1961/62年冬）。

平均気温：東・西日本と沖縄・奄美でかなり高く、北日本では平年並だった。

降水量：北日本太平洋側と東日本日本海側でかなり少なく、北日本日本海側と東日本太平洋側で少なかった。一方、沖縄・奄美は多かった。西日本では平年並だった。

日照時間：西日本太平洋側でかなり少なく、東日本太平洋側と西日本日本海側で少なかった。一方、北日本太平洋側は多かった。北・東日本日本海側と沖縄・奄美では平年並だった。

春（3月～5月）：

- 春の日照時間は、北・東・西日本でかなり多く、春の降水量は北・西日本で少なかった
- 春の気温は、北・西日本と沖縄・奄美でかなり高く、東日本で高かった
- 沖縄・奄美では、春の降水量が多かった

北日本から西日本にかけては、天気は数日の周期で変わったが、低気圧は日本の北と日本の南海上を通りやすく、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。このため、春の日照時間はかなり多く、北・東・西日本日本海側と北日本太平洋側では、それぞれ平年比127%、123%、118%、124%と1946年の統計開始以来、春の日照時間として最も多かった（西日本日本海側は1位タイ）。春の降水量は、北日本日本海側でかなり少なく、北日本太平洋側と西日本では少なかった。東日本は、低気圧や前線の影響を受けやすい時期があり、春の降水量は平年並だった。

また、日本の北の低気圧に向かって暖かい空気が入りやすかったことや、高気圧に覆われて晴れて強い日射の影響で、春の気温は北・西日本でかなり高く、東日本で高かった。特に5月下旬は、日本の東と南で高気圧の勢力が強く、沿海州からサハリン付近の低気圧に向かって暖かい空気が入りやすかったため、北・東日本を中心に記録的な高温となった地点が多かった。

沖縄・奄美では、期間を通して前線や暖かく湿った空気の影響を受けやすかったため、春の降水量は多く、春の気温はかなり高かった。

平均気温：北・西日本と沖縄・奄美でかなり高く、東日本では高かった。

降水量：北日本日本海側でかなり少なく、北日本太平洋側と西日本で少なかった。一方、沖縄・奄美では多く、東日本では平年並だった。

日照時間：北・東・西日本でかなり多く、沖縄・奄美では平年並だった。

夏（6月～8月）：

○ 西日本を中心にたびたび大雨となり、東日本太平洋側と西日本は、降水量が多く、日照時間は少なかった

○ 北・東日本と沖縄・奄美は、気温が高かった

○ 沖縄・奄美は、降水量がかなり多く、日照時間はかなり少なかった

6月は、太平洋高気圧の北への張り出しが弱く、日本付近で偏西風が南に蛇行したため、梅雨前線は日本の南海上に停滞しやすかった。このため、沖縄・奄美では前線や湿った空気の影響を受けやすく、日照時間はかなり少なかった一方、前線の影響を受けにくかった東・西日本の日照時間は多かった。北日本は、気圧の谷がたびたび通過したため、天気は数日の周期で変わった。

7月は、梅雨前線が本州南岸に停滞する日が多く、北日本から西日本にかけては前線や湿った空気の影響を受けやすく曇りや雨の日が多かった。特に6月末から7月はじめは、梅雨前線の活動が活発になった影響で、九州南部を中心に大雨となった。また、下旬前半にかけて太平洋高気圧の本州付近への張り出しが弱かったため、梅雨明けは平年より遅れた地方が多く、九州北部地方を中心に大雨となる日があった。一方、沖縄・奄美は台風や湿った空気の影響でこの時期としては晴れの日が少なかった。

8月は、北日本から西日本にかけては、前半を中心に太平洋高気圧に覆われて晴れて厳しい暑さの日が続いた。その後は台風や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、下旬は前線の影響で曇りや雨の日が多かった。特に28日は、対馬海峡付近の前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、九州北部地方では記録的な大雨となり、佐賀県、福岡県、長崎県に大雨特別警報が発表された。沖縄・奄美では、上旬と中旬は台風や湿った空気の影響を受けやすかったが、下旬は高気圧に概ね覆われて晴れた日が多かった。

夏の平均気温は、暖かい空気に覆われる時期が多かった北日本と沖縄・奄美と、7月末から8月前半にかけて晴れて厳しい暑さとなった東日本では高かった。西日本は、夏の平均気温は平年並だったが、7月の気温は前線が南岸に停滞して冷たい空気の影響を受けやすかったことや、梅雨明けが遅れた影響で低かった。一方、8月は、上旬は高気圧に覆われて晴れて気温がかなり高くなったが、下旬は低気圧や前線の影響で不順な天候となり、気温はかなり低くなるなど気温の変動が大きかった。

平均気温：北・東日本と沖縄・奄美で高く、西日本では平年並だった。

降水量：西日本太平洋側と沖縄・奄美でかなり多く、東日本太平洋側と西日本日本海側では多かった。北日本と東日本日本海側では平年並だった。

日照時間：沖縄・奄美でかなり少なく、東日本太平洋側と西日本では少なかった。北日本と東

日本日本海側では平年並だった。

秋（9月～11月）：

- 全国的に気温が高く、東・西日本ではかなり高かった
- 北・東・西日本で日照時間が多かった
- 台風等の影響で各地で大雨や大荒れとなり、北・東日本太平洋側と沖縄・奄美の降水量は多かった

秋の平均気温は、暖かい高気圧に覆われやすかったため全国的に高く、特に南から暖かい空気が流れ込みやすかった東・西日本ではかなり高くなった。平均気温平年差は、東日本で $+1.6^{\circ}\text{C}$ 、西日本で $+1.4^{\circ}\text{C}$ となり、それぞれ1946年以降で秋としての1位の記録となった。地点で見ると、全国の気象台等153地点のうち70地点で高い方からの1位の値を記録した(タイを含む)。また、大陸から進んできた高気圧に覆われやすかったため、北・東・西日本で日照時間が多く、特に北・西日本太平洋側ではかなり多かった。

この秋に発生した台風は16個だった。9月8日から9日にかけては、強い勢力で関東地方に上陸した台風第15号の影響で、千葉（千葉県）で 57.5m/s の最大瞬間風速を観測するなど、東日本太平洋側を中心に大雨や記録的な暴風を観測するなど大荒れとなり、千葉県などで甚大な災害が発生した。10月12日には台風第19号が大型で強い勢力で伊豆半島に上陸し、関東地方から東北地方を通過したため、10月11日から13日にかけて東日本から東北地方の広い範囲で大雨や大荒れとなった。箱根（神奈川県）では10月12日の日降水量が歴代の全国で1位となる 922.5mm を観測するなど、多くの地点で記録的な大雨となり、13都県で大雨特別警報の発表に至った。この影響で河川の氾濫が相次ぐなど、大きな被害が発生した。10月25日には、東日本の太平洋沿岸を進む低気圧に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込んで、関東甲信地方や東北地方で大雨となり、河川の氾濫や土砂崩れなどの被害が発生した。これらの影響で、北・東日本太平洋側では降水量が多かった。

沖縄・奄美では、この秋には台風第13号、第17号、第18号、第20号、第27号が接近・通過し、それぞれ大雨や大荒れとなった所があった。また、9月や11月を中心に前線や湿った空気の影響を受けやすい時期があり、降水量が多くなった。

平均気温：東・西日本でかなり高く、北日本と沖縄・奄美で高かった。

降水量：北・東日本太平洋側と沖縄・奄美で多く、一方、北・東日本日本海側では少なく、西日本では平年並だった。

日照時間：北・西日本太平洋側でかなり多く、北・西日本日本海側と東日本で多かった。沖縄・奄美では平年並だった。

4 全国気候表 2019 年

地 点 名	平均気温(平年差)			降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)		
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)		(h)	(%)	
札幌	9.8	(+0.9)	+*	814.0	(74)	—*	131	1987.7	(114) +*
稚内	7.5	(+0.7)	+	749.0	(70)	—*	135	1568.6	(106) +
北見枝幸	6.9	(+0.9)	+*	932.5	(81)	—*	155	1616.6	(104) +
旭川	7.7	(+0.8)	+*	994.0	(95)	○	157	1654.1	(104) +
留萌	8.5	(+0.8)	+*	1004.0	(89)	—	146	1652.0	(107) +
羽幌	8.5	(+0.8)	+*	992.5	(77)	—*	159	1628.3	(103) ○
岩見沢	8.4	(+0.8)	+	1179.0	(101)	○	153	1786.8	(104) +
倶知安	7.7	(+0.7)	+	1038.5	(70)	—*	165	1661.8	(113) +*
小樽	9.3	(+0.7)	+*	874.5	(71)	—*	154	1805.1	(111) +
寿都	9.4	(+0.8)	+*	874.5	(74)	—*	143	1668.3	(117) +*
網走	7.4	(+0.9)	+	688.0	(87)	○	96	2002.8	(107) +*
紋別	7.2	(+0.8)	+	729.5]	()	116]		1795.5	(104) +
				(統計月数:10)		(統計月数:11)			
雄武	6.7	(+1.0)	+*	691.0	(80)	—	118	1787.9	(107) +
釧路	7.1	(+0.9)	+*	1098.0	(105)	+	81	2143.0	(109) +*
根室	7.2	(+0.9)	+*	903.0	(88)	—	76	2133.7	(116) +*
帯広	7.9	(+1.1)	+*	778.0	(88)	—	78	2152.6	(106) +
広尾	7.9	(+1.1)	+*	1519.0	(89)	—	113	2054.2	(113) +*
室蘭	9.4	(+0.8)	+*	909.0	(77)	—*	114	1879.0	(109) +*
苫小牧	8.2	(+0.6)	+	1217.5	(102)	○	118	1947.9	(114) +*
浦河	8.6	(+0.7)	+	1068.5	(100)	○	96	2067.0	(113) +*
函館	10.0	(+0.9)	+*	937.0	(81)	—	114	1934.5	(111) +*
江差	10.8	(+0.7)	+*	892.5	(75)	—*	132	1659.2	(114) +*
青森	11.4	(+1.0)	+*	1093.0	(84)	—	140	1877.0	(117) +*
深浦	11.6	(+0.9)	+*	1203.5	(82)	—	127	1720.5	(119) +*
むつ	10.4	(+0.9)	+*	1073.0	(80)	—*	125	1820.6	(113) +*
八戸	11.1	(+0.9)	+*	967.0	(94)	○	83	2051.1	(110) +*
秋田	12.9	(+1.2)	+*	1566.5	(93)	○	151	1833.7	(120) +*
盛岡	11.3	(+1.1)	+*	1029.5	(81)	—	107	1882.9	(112) +*
大船渡	12.3	(+1.0)	+*	1722.0	(112)	+	96	1916.4	(110) +*
宮古	11.5	(+0.9)	+*	1484.0	(112)	○	84	2098.2	(111) +*
仙台	13.6	(+1.2)	+*	1389.5	(111)	+	97	2056.0	(114) +*
石巻	12.5	(+0.9)	+*	1359.5	(127)	+*	90	2112.1	(109) +*
山形	12.8	(+1.1)	+*	1261.5	(108)	+	131	1789.8	(111) +*
新庄	11.6	(+0.9)	+*	1813.0	(98)	○	181	1551.8	(117) +*
酒田	13.8	(+1.1)	+*	1657.5	(88)	—	172	1777.3	(115) +*
福島	14.0	(+1.0)	+*	1462.5	(125)	+	109	1926.8	(111) +*
若松	12.8	(+1.1)	+*	1143.0	(94)	○	148	1763.9	(109) +*
白河	12.5	(+1.0)	+*	1995.5	(141)	+*	119	1877.1	(105) +
小名浜	14.5	(+1.1)	+*	1672.0	(119)	+	107	2143.3	(105) +
水戸	14.9	(+1.3)	+*	1391.0	(103)	○	102	2088.6	(109) +*
館野(つくば)	15.0	(+1.2)	+*	1420.5	(111)	+	106	1996.8	(104) ○
宇都宮	14.9	(+1.1)	+*	1867.5	(125)	+*	120	1948.1	(102) ○
日光	7.8	(+0.9)	+*	2576.0	(118)	+	134	1774.5	(100) ○

地 点 名	平均気温(平年差)			降水量(平年比)		降水日数		日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)	≥1mm		(h)	(%)
前 橋	15.7	(+1.1)	+*	1447.5	(116)	+	103	2190.9	(104) +
熊 谷	16.1	(+1.1)	+*	1460.5	(114)	+	98	2143.4	(105) +
秩 父	14.1	(+1.0)	+*	1865.5	(140)	+*	96	1994.3	(105) +
東 京	16.5	(+1.1)	+*	1874.0	(123)	+*	111	1909.0	(102) ○
大 島	17.2	(+1.1)	+*	3890.5	(138)	+*	142	1777.6	(98) —
三 宅 島	18.9	(+1.2)	+*	4124.0	(140)	+*	178	1572.9	(92) —
八 丈 島	18.7	(+0.9)	+*	4340.5	(136)	+*	180	1439.0	(103) ○
父 島	23.9	(+0.7)	+*	1698.5	(131)	+*	125	1994.6	(98) —
千 葉	16.8	(+1.1)	+*	1697.0	(122)	+*	117	1912.8	(100) ○
銚 子	16.7	(+1.3)	+*	2160.5	(130)	+*	124	2068.1	(106) +
館 山	16.9	(+1.0)	+*	2528.0	(141)	+*	125	2013.4	(104) +
勝 浦	16.7	(+1.0)	+*	2395.5	(122)	+*	128	1987.3	(103) ○
横 浜	16.9	(+1.1)	+*	1937.0	(115)	+	111	2020.7	(103) ○
長 野	12.9	(+1.0)	+*	1006.0	(108)	+	111	1976.8	(102) ○
松 本	12.8	(+1.0)	+*	1023.5	(99)	○	95	2169.6	(103) +
諏 訪	12.0	(+0.9)	+*	1265.0	(99)	○	109	2161.9	(102) ○
軽 井 沢	9.0	(+0.8)	+	1530.0	(123)	+	113	2025.8]	()
飯 田	13.6	(+0.8)	+*	1474.5	(91)	○	119	(統計月数:11) 2087.6	(103) +
甲 府	15.9	(+1.2)	+*	1168.0	(103)	○	95	2216.1	(102) ○
河 口 湖	11.7	(+1.1)	+*	1889.0	(120)	+	112	1958.4	(100) ○
静 岡	17.8	(+1.3)	+*	2390.5	(103)	○	118	2119.3	(101) ○
浜 松	17.5	(+1.1)	+*	2143.0	(118)	+	117	2246.1	(103) +
御 前 崎	17.7	(+1.3)	+*	2454.0	(119)	+	125	2232.3	(100) ○
三 島	17.1	(+1.2)	+*	2119.5	(113)	+	122	1994.9	(102) ○
石 廊 崎	17.7	(+1.1)	+*	2524.0]	()		131	2132.0	(101) ○
網 代	16.9	(+0.9)	+*	(統計月数:11) 2073.0	(105)	○	122	1781.1	(99) ○
名 古 屋	17.0	(+1.2)	+*	1555.5	(101)	○	109	2208.7	(106) +
伊 良 湖	17.1	(+1.1)	+*	1852.0	(116)	+	106	2234.5	(101) ○
岐 阜	17.0	(+1.2)	+*	1798.0	(98)	○	108	2195.9	(105) +
高 山	12.1	(+1.1)	+*	1789.0	(105)	○	136	1693.4	(104) +
津	16.9	(+1.0)	+*	1630.0	(103)	○	109	2110.7	(101) ○
上 野	15.3	(+1.1)	+*	1504.5	(110)	+	108	1805.9	(102) ○
尾 鷲	17.1	(+1.0)	+*	4662.0	(121)	+*	133	1987.7	(102) ○
四 日 市	15.9	(+1.1)	+*	1931.5	(112)	+	106	1964.1	(100) ○
新 潟	14.6	(+1.0)	+*	1352.0	(74)	—*	153	1832.6	(112) +*
相 川	14.8	(+0.9)	+*	1358.5	(90)	○	148	1871.4	(115) +*
高 田	14.4	(+0.8)	+	2846.5	(103)	○	191	1712.7	(108) +
富 山	15.2	(+1.1)	+*	2097.5	(91)	—	166	1738.3	(108) +*
伏 木	14.9	(+1.0)	+*	1791.0	(80)	—	158	1801.3	(112) +*

地 点 名	平均気温(平年差)			降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)	
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)		(h)	(%)
金 沢 輪 島	15.8	(+1.2)	+	2009.5	(84)	—	1895.6	(113)
	14.3	(+0.8)	+	1764.5	(84)	—	1791.9	(115)
福 井 敦 賀	15.6	(+1.1)	+	1851.5	(83)	—	1777.1	(110)
	16.3	(+1.0)	+	1793.5	(84)	—	1732.2	(111)
彦 根	15.8	(+1.1)	+	1398.5	(89)	—	1960.7	(107)
京 都 舞 鶴	16.9	(+1.0)	+	1407.5	(94)	○	1817.3	(102)
	15.4	(+0.9)	+	1530.0	(84)	—	1591.6	(103)
大 阪	17.6	(+0.7)	+	1219.0	(95)	○	2101.2	(105)
神 戸 豊 岡 姫 路 洲 本	17.7	(+1.0)	+	1177.5	(97)	○	2143.6	(103)
	15.4	(+1.1)	+	1621.0	(80)	—	1545.8	(104)
	16.2	(+1.0)	+	1084.0	(90)	—	2062.2	(101)
	16.6	(+1.1)	+	1385.0	(98)	○	2090.3	(101)
奈 良	16.3	(+1.4)	+	1482.5	(113)	+	1886.8	(103)
和 歌 山 潮 岬	17.4	(+0.7)	+	1625.5	(123)	+	2177.6	(104)
	17.9	(+0.6)	+	3140.0	(125)	+	2251.8	(101)
岡 山 津 山	16.5	(+0.3)	○	921.5	(83)	—	2065.7	(102)
	14.5	(+0.8)	+	1160.0	(82)	—	1862.6	(105)
広 島 呉 福 山	17.2	(+0.9)	+	1381.5	(90)	○	2133.8	(104)
	17.2	(+1.0)	+	1215.5	(88)	—	2161.0	(105)
	16.2	(+0.8)	+	947.5	(85)	—	2115.3	(101)
松 江 西 郷 浜 田	15.9	(+1.0)	+	1490.5	(83)	—	1784.9	(105)
	15.2	(+0.9)	+	1678.0	(93)	○	1851.7	(106)
	16.4	(+0.9)	+	1353.5	(81)	—	1888.9	(108)
鳥 取 米 子 境	16.0	(+1.1)	+	1536.5	(80)	—	1723.4	(104)
	16.1	(+1.1)	+	1323.5	(75)	—	1792.1	(103)
	16.2	(+1.1)	+	1498.0	(79)	—	1768.3	(103)
徳 島	17.4	(+0.8)	+	1543.0	(106)	○	2146.2	(103)
高 松 多 度 津	17.3	(+1.0)	+	927.5	(86)	—	2115.8	(103)
	17.2	(+1.0)	+	856.0	(80)	—	2155.7	(102)
松 山 宇 和 島	17.4	(+0.9)	+	1144.5	(87)	—	2047.0	(101)
	17.6	(+0.8)	+	1595.0	(97)	○	2012.4	(104)
高 知 宿 毛 清 水	17.8	(+0.8)	+	2538.5	(100)	○	2134.7	(99)
	17.9	(+1.0)	+	2632.0	(133)	+	2119.5	(101)
	18.9	(+0.7)	+	2680.0]	()	123	2169.4	(98)
室 戸 岬	17.3	(+0.6)	+	(統計月数:11)		113	2223.7	(102)
山 口 下 関 萩	16.3	(+1.0)	+	1974.5	(105)	○	1952.9	(106)
	17.6	(+0.9)	+	1607.0	(95)	○	1974.7	(105)
	16.4	(+0.9)	+	1761.5	(106)	○	1864.5	(108)

地 点 名	平均気温(平年差)			降水量(平年比)		降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比)		
	(°C)	(°C)		(mm)	(%)		(h)	(%)	
福岡 飯塚	17.9	(+0.9)	+	1609.0	(100)	○	110	1982.0	(106) +
	16.5	(+0.8)	+	1629.0	(92)	—	116	1880.5	(103) ○
大分 日田	17.4	(+1.0)	+	1753.0	(107)	○	107	1980.1	(99) ○
	16.4	(+1.0)	+	1760.0	(97)	○	113	1819.1	(101) ○
長崎 厳原 平戸 佐世保 雲仙 岳	17.9	(+0.7)	+	1788.0	(96)	○	113	1959.3	(105) +
	16.6	(+0.8)	+	2723.0	(122)	+	95	2006.7	(108) +
	16.9	(+0.8)	+	2438.5	(116)	+	115	1899.1	(106) +
	17.8	(+0.8)	+	1853.0	(95)	○	114	2051.8	(108) +
	13.5	(+0.7)	+	2593.0	(89)	—	130	1540.5	(107) +
	17.4	(+0.6)	+	2979.5	(128)	+	115	1862.8	(106) +
佐賀	17.7	(+1.2)	+	2078.5	(111)	+	106	2041.9	(104) +
熊本 人吉 牛深	17.7	(+0.8)	+	2026.5	(102)	○	113	2070.0	(103) +
	16.4	(+0.9)	+	2376.5	(99)	○	118	1777.2	(97) —
	18.8	(+0.8)	+	1869.0	(94)	○	115	2083.8	(107) +
宮崎 延岡 都城 油津	18.4	(+1.0)	+	3045.5	(121)	+	129	2045.0	(97) —
	17.4	(+0.8)	+	3129.5	(137)	+	128	2059.4	(97) ○
	17.5	(+1.0)	+	3021.0	(122)	+	136	1845.3	(95) —
	18.8	(+0.6)	+	3210.0	(124)	+	129	1869.3	(95) —
鹿児島 阿久根 枕崎 屋久島 種子島 名瀬 沖永良部	19.4	(+0.8)	+	2470.0	(109)	+	125	1971.2	(102) +
	18.0	(+0.8)	+	2418.5	(118)	+	118	2017.8	(103) +
	18.9	(+0.8)	+	2024.0	(93)	○	113	1959.2	(102) ○
	20.2	(+0.8)	+	4434.5	(99)	○	168	1466.6	(96) —
	20.3	(+0.7)	+	2432.0	(104)	○	155	1802.9	(100) ○
	22.2	(+0.6)	+	3552.5	(125)	+	180	1228.6	(90) —*
	23.1	(+0.7)	+	2198.5	(120)	+	138	1796.2	(96) —
那覇 名護 久米島 宮古島 石垣島 西表島 与那国島 南大東島	23.9	(+0.8)	+	2637.5	(129)	+	135	1665.6	(94) —
	23.4	(+0.8)	+	2600.0	(129)	+	154	1657.4	(94) —
	23.8	(+0.9)	+	2767.0	(131)	+	150	1611.2	(92) —*
	24.4	(+0.8)	+	2699.0	(134)	+	148	1616.0	(91) —*
	25.1	(+0.8)	+	2701.5	(128)	+	144	1764.6	(95) —
	24.6	(+0.9)	+	2547.0	(111)	+	151	1632.1	(94) —
	24.6	(+0.8)	+	2649.0	(113)	+	158	1466.5	(93) —
	24.1	(+0.8)	+	1754.0	(110)	+	113	2092.7	(99) ○

(注) 1. 平年値は1981～2010年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1981～2010年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、値が1981～2010年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に*を付加した。この場合には

かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

と表現できる。

3. 値の横に] がある場合には、年別値を求める際に使用したデータ(月別値)に欠測等が含まれていることを示す。] 付きの値(資料不足値)については、統計に用いる観測資料数が不足しているため、値の下に記載した統計月数を参考にして使用されたい。

なお、月別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

5 極値順位更新表 2019 年

過去の平年差（比）と同値は「＝」で表す。

年平均気温高い方からの順位更新

順位	地点名	平均気温 ℃	平年差 ℃	これまでの最高 ℃（西暦年）	開始年	平年値 ℃
1	秋田	12.9	+1.2	12.7 (2015)	1882	11.7
	酒田	13.8	+1.1	13.7 (1990)	1937	12.7
	相川	14.8	+0.9	14.7 (2004)	1911	13.9
	金沢	15.8 =	+1.2	15.8 (2004)	1882	14.6
	伏木	14.9 =	+1.0	14.9 (2016)	1883	13.9
	富山	15.2 =	+1.1	15.2 (2016)	1939	14.1
	福井	15.6 =	+1.1	15.6 (2016)	1897	14.5
	岐阜	17.0	+1.2	16.9 (2018)	1883	15.8
	名古屋	17.0 =	+1.2	17.0 (2016)	1890	15.8
	浜松	17.5 =	+1.1	17.5 (2016)	1882	16.4
	御前崎	17.7	+1.3	17.5 (2004)	1932	16.4
	静岡	17.8	+1.3	17.7 (2018)	1940	16.5
	三島	17.1 =	+1.2	17.1 (2018)	1930	15.9
	尾鷲	17.1 =	+1.0	17.1 (2004)	1938	16.1
	石廊崎	17.7	+1.1	17.6 (2018)	1939	16.6
	三宅島	18.9	+1.2	18.8 (2018)	1942	17.7
	境	16.2 =	+1.1	16.2 (1998)	1883	15.1
	米子	16.1 =	+1.1	16.1 (2016)	1939	15.0
	鳥取	16.0 =	+1.1	16.0 (2016)	1943	14.9
	豊岡	15.4 =	+1.1	15.4 (2016)	1918	14.3
	彦根	15.8 =	+1.1	15.8 (2016)	1893	14.7
	奈良	16.3	+1.4	16.2 (2018)	1953	14.9
2	留萌	8.5 =	+0.8	8.9 (1990)	1943	7.7
	深浦	11.6 =	+0.9	11.8 (1990)	1940	10.7
	盛岡	11.3 =	+1.1	11.6 (2015)	1923	10.2
	宮古	11.5 =	+0.9	11.8 (1990)	1883	10.6
	山形	12.8	+1.1	12.9 (1990)	1889	11.7
	仙台	13.6 =	+1.2	13.7 (2015)	1926	12.4
	白河	12.5 =	+1.0	12.7 (2018)	1940	11.5
	小名浜	14.5 =	+1.1	14.7 (2018)	1910	13.4
	輪島	14.3 =	+0.8	14.5 (2004)	1929	13.5
	宇都宮	14.9 =	+1.1	15.2 (2018)	1890	13.8
	前橋	15.7	+1.1	16.1 (2018)	1896	14.6
	熊谷	16.1 =	+1.1	16.4 (2018)	1896	15.0
	水戸	14.9	+1.3	15.3 (2018)	1897	13.6
	甲府	15.9	+1.2	16.0 (2018)	1894	14.7
	河口湖	11.7 =	+1.1	11.8 (2018)	1933	10.6
	秩父	14.1 =	+1.0	14.5 (2018)	1926	13.1
	館野	15.0	+1.2	15.3 (2018)	1921	13.8
	銚子	16.7 =	+1.3	16.8 (2018)	1887	15.4
	伊良湖	17.1 =	+1.1	17.2 (2004)	1947	16.0
	横浜	16.9 =	+1.1	17.1 (2018)	1896	15.8
	館山	16.9	+1.0	17.2 (2018)	1968	15.9
	大島	17.2	+1.1	17.3 (2018)	1938	16.1
	千葉	16.8 =	+1.1	17.2 (2018)	1966	15.7
	松江	15.9 =	+1.0	16.0 (1998)	1940	14.9
	浜田	16.4 =	+0.9	16.5 (1998)	1893	15.5

	広島	17.2 =	+0.9	17.6 (1998)	1879	16.3
	呉	17.2 =	+1.0	17.4 (1998)	1894	16.2
	洲本	16.6	+1.1	16.7 (1998)	1919	15.5
	厳原	16.6 =	+0.8	16.8 (1998)	1886	15.8
	大分	17.4 =	+1.0	17.6 (2016)	1887	16.4
	多度津	17.2 =	+1.0	17.4 (1998)	1892	16.2
	西表島	24.6	+0.9	24.8 (2016)	1955	23.7
3	小樽	9.3 =	+0.7	9.8 (1990)	1943	8.6
	札幌	9.8 =	+0.9	10.1 (1990)	1877	8.9
	帯広	7.9	+1.1	8.1 (2015)	1892	6.8
	広尾	7.9 =	+1.1	8.2 (2015)	1958	6.8
	新庄	11.6 =	+0.9	11.9 (1990)	1957	10.7
	若松	12.8 =	+1.1	12.9 (2016)	1953	11.7
	青森	11.4	+1.0	11.7 (1990)	1882	10.4
	むつ	10.4 =	+0.9	11.0 (1990)	1935	9.5
	石巻	12.5 =	+0.9	12.7 (1990)	1887	11.6
	新潟	14.6	+1.0	14.9 (1990)	1881	13.6
	長野	12.9 =	+1.0	13.1 (2016)	1889	11.9
	松本	12.8 =	+1.0	13.2 (2018)	1898	11.8
	諏訪	12.0 =	+0.9	12.3 (2018)	1945	11.1
	敦賀	16.3 =	+1.0	16.4 (2016)	1897	15.3
	上野	15.3 =	+1.1	15.5 (2016)	1937	14.2
	津	16.9 =	+1.0	17.2 (1998)	1889	15.9
	網代	16.9	+0.9	17.1 (2018)	1937	16.0
	勝浦	16.7	+1.0	16.9 (2018)	1906	15.7
	西郷	15.2	+0.9	15.3 (1998)	1939	14.3
	京都	16.9 =	+1.0	17.1 (2016)	1880	15.9
	姫路	16.2 =	+1.0	16.3 (2016)	1948	15.2
	神戸	17.7	+1.0	17.8 (2016)	1896	16.7
	山口	16.3 =	+1.0	16.7 (1998)	1966	15.3
	飯塚	16.5 =	+0.8	16.8 (1998)	1935	15.7
	佐賀	17.7	+1.2	17.9 (2016)	1890	16.5
	日田	16.4	+1.0	16.8 (2016)	1942	15.4
	延岡	17.4	+0.8	17.7 (2016)	1961	16.6
	人吉	16.4	+0.9	16.8 (1998)	1943	15.5
	鹿児島	19.4	+0.8	19.8 (1998)	1883	18.6
	都城	17.5	+1.0	17.8 (1998)	1942	16.5
	宮崎	18.4	+1.0	19.2 (1998)	1886	17.4
	枕崎	18.9	+0.8	19.2 (1998)	1923	18.1
	種子島	20.3 =	+0.7	21.2 (1998)	1948	19.6
	牛深	18.8 =	+0.8	19.2 (1998)	1949	18.0
	松山	17.4	+0.9	17.6 (2016)	1890	16.5
	高松	17.3 =	+1.0	17.5 (2016)	1941	16.3
	宇和島	17.6	+0.8	18.1 (1998)	1922	16.8
	宿毛	17.9	+1.0	18.2 (2016)	1943	16.9
	清水	18.9 =	+0.7	19.5 (1998)	1940	18.2
	名瀬	22.2 =	+0.6	22.6 (2016)	1896	21.6
	与那国島	24.6	+0.8	24.8 (1998)	1956	23.8
	石垣島	25.1	+0.8	25.4 (1998)	1896	24.3
	宮古島	24.4	+0.8	24.8 (1998)	1937	23.6
	久米島	23.8	+0.9	24.2 (1998)	1958	22.9
	那覇	23.9	+0.8	24.4 (1998)	1890	23.1
	名護	23.4	+0.8	23.8 (1998)	1966	22.6
	沖永良部	23.1 =	+0.7	23.6 (1998)	1969	22.4
	南大東島	24.1	+0.8	24.7 (1998)	1942	23.3

年平均気温低い方からの順位更新

3位以内はなし

年降水量多い方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最大 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
1	館山	2528.0	141	2403.5 (1989)	1968	1790.0
	三宅島	4124.0	140	4107.0 (1979)	1942	2953.6
2	白河	1995.5	141	2122.5 (1998)	1940	1410.9
3	石廊崎	2524.0]		2990.5 (1941)	1939	1777.7
	大島	3890.5	138	4384.4 (1941)	1938	2827.1
	千葉	1697.0	122	1910.5 (1991)	1966	1387.3

年降水量少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
1	稚内	749.0	70	776.5 (1986)	1938	1062.7
	倶知安	1038.5	70	1082.0 (1984)	1944	1477.1
2	小樽	874.5	71	751.0 (1984)	1943	1232.0
	米子	1323.5	75	1233.5 (1973)	1939	1772.0
3	北見枝幸	932.5	81	697.0 (2008)	1942	1150.0
	札幌	814.0	74	724.6 (1897)	1876	1106.5
	寿都	874.5	74	654.0 (1984)	1884	1177.1
	室蘭	909.0	77	802.0 (1982)	1923	1184.8
	新潟	1352.0	74	1273.1 (1928)	1881	1821.0
	豊岡	1621.0	80	1549.2 (1939)	1918	2027.1

年間日照時間多い方からの順位更新

順位	地点名	日照時間 h	平年比 %	これまでの最大 h (西暦年)	開始年	平年値 h
1	根室	2133.7	116	2091.5 (1970)	1890	1843.6
	新庄	1551.8	117	1540.2 (1984)	1957	1323.0
	秋田	1833.7	120	1814.8 (1975)	1899	1526.0
2	深浦	1720.5	119	1729.2 (1982)	1940	1449.0
3	江差	1659.2	114	1765.5 (1984)	1941	1450.3
	広尾	2054.2	113	2191.6 (1978)	1958	1815.0

年間日照時間少ない方からの順位更新

3位以内はなし

(注) 値の横に「」がある場合には、年別値を求める際に使用したデータ（月別値）に欠測等、統計に用いなかった値が含まれている（資料不足値）。順位は更新順位以上になることは確実であるが、統計値の使用に際しては気候表に記載した統計月数を参照されたい。
平年値とは 1981～2010 年の 30 年間の値を平均したものである。

○本資料に関連した各地点の所在地等の情報は、気象庁ホームページに掲載しています。

ホーム > 各種データ・資料 > 過去の気象データ検索 > 利用される方へ > 地上気象観測地点一覧

<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/mdrr/chiten/sindex2.html>



(注意)

当資料に掲載されている天候の特徴や統計値は、現時点で得られている資料を取りまとめた速報です。

また、最新のデータを追加した上で、毎月 15 日頃に気象庁ホームページの「日本の天候の特徴と見通し」で詳しく解説しています。

<https://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/>

